

令和7年度 第4回生坂村ゼロカーボン推進プロジェクト会議録

日 時：令和7年7月23日（水）13時30分

場 所：村民会館講堂

村長より

- ・脱炭素先行地域づくり事業が進行しており、目に見えて進んでいる事が村民の皆様にも感じられているのではないかと考えている。また龍と子にて、役場へ導入したEV車やペレットストーブのCO2削減効果やコストダウンの効果をお知らせし、村民の皆様にもEV車を購入していただければ、脱炭素により一層近付いていくのではないかと考えている。
- ・生坂村最大のイベントである赤とんぼフェスティバルの時に、効果促進事業として何かできないか今計画をしており、本日はこの件も協議をいただきたい。
- ・5月から始まった村政懇談会の中では脱炭素先行地域づくり事業の説明に対するご質問ご意見も頂戴し、今回は批判的なご意見はほとんどなかったものの、どのように設備を導入したら良いか、特に公民館に空調を導入したいというようなご意見が見られた。昨日の区長会議である程度お示しをしたが、避難所である公民館については3分の2を環境省の補助金で充当し、残り3分の1の受益者負担をどうするか、当会議や課長会議で検討をして、地元負担はその3分の1くらいにしたいという私の考えを申し上げた。なるべく避難した時に快適な避難生活が送れるようにすることもレジリエンス強化につながると考えているので、引き続きご協議をいただき、より良い脱炭素先行地域づくり事業にしてまいりたい。

【協議事項】

○効果促進事業について

- ・効果促進事業の企画案として、EVモビリティ普及啓発についての目的、村での取組状況、10月18日（土）の赤とんぼフェスティバルでの松本山雅と連携したブース出店内容について説明。

- ・今後、赤とんぼフェスティバル実行委員会事務局の振興課とブース出展の配置等の調整を行うように意見があり、そのブース内で(株)いくさかてらすも電気小売りについての説明や営業を行っていくよう計画していると説明。

○役場の CO2 削減実績について

- ・龍と子 7 月号に掲載する、役場での EV 公用車・ペレットストーブ・太陽光パネルの設置に伴う CO2 削減効果について、省エネ機器・木質バイオマスストーブ等導入補助金の指定業者の追加等について説明。

○上生坂マイクログリッド工事について

- ・上生坂地区の県道を中心としたマイクログリッド工事の状況、工事看板や工程表を用いての周辺施設や住民への周知実施状況について、また 8 月末から 9 月に計画している村道の試掘（試し掘り）について説明。
- ・試掘の範囲について質問があり、試掘は必要箇所のみで、事前に届け出を行い支障のない時期を調整して実施する予定と説明。

○村内脱炭素事業関連設備の申請・導入実績について

- ・令和 7 年 7 月 18 日までの省エネ機器、太陽光発電設備申請・導入状況について説明。
- ・太陽光発電設備の件数が(株)いくさかてらすが把握している状況と異なっているかもしれないので整合するように意見があった。

○その他

- ・PPA 事業に関する各施設の工事進捗について説明があった。
- ・安川電機のパワコン検査について質問があり、中部電力管内の全パワコンの検査が必要となったため、安川電機に送り返し対応していると説明があった。

- ・ 一般家庭で畑等への太陽光発電設備設置希望者が増加しており、農地転用の手続きについて振興課と調整して効率よく対応するように意見があった。
- ・ 公民館のエアコン・LED 導入補助については、今後ゼロカーボン推進プロジェクト会議、課長会議で調整し、議会と協議して行っていく。そのために次回の課長会議で意見等を出して欲しいという意見があった。